

Si-R570 V35.06 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V32.00～V35.03	動的VPN接続で通信中にテンプレート定義変更を繰り返すと装置が再起動することがある。 例)template 0 ike proposal 0 encrypt 3des-cbc/aes-cbc-256を繰り返し実施
2	V34.00～V35.03	接続先情報のIPv6動的VPN接続においてremote ip6 dvpn構成定義コマンドにてautoignoreを設定時、相手との動的VPNが接続できなくなる。
3	V21.02～V35.03	IPsec高負荷通信中にSA保持時間満了等によりIKEネゴシエーションが行われると装置が再起動する場合がある。
4	V35.00～V35.03	DHCPサーバ/リレー機能を使うlanインタフェースのDHCPサーバ設定を他lanインタフェースへ動的定義変更(例えばlan0からlan1へ変更)してもDHCPパケットの送信元MACアドレスはがlan0インタフェースのMACアドレスのままとなる。
5	V35.00～V35.03	シェーピング機能が有効な状態で大量の送信要求がある場合に、装置が再起動することがある。
6	V35.03	BRI拡張モジュールH1(SIR57BR4)使用時において、モジュール内部のデータ転送処理が遅れる場合がある。
7	V33.00～V35.03	ipv6 ospfを有効にしたetherポートのonline/offlineを繰り返すと、装置が再起動することがある。
8	V21.02～V35.03	WAN(FR/HSD/ISDN)回線設定の動的定義反映を繰り返すと装置が再起動することがある。
9	V30.00～V35.03	IPv6フラグメント対象のパケットを送信すると装置が再起動することがある。
10	V30.00～V35.03	IP-BSとの接続にて、IP-BSメッセージがVoIP-NAT変換されない場合がある。(PHS同士のピックアップ時に無音になり通話できない場合がある)
11	V21.02～V35.03	remote定義が最大設定されているときにWEB画面の操作「接続先閉塞／閉塞解除」をクリックすると通信が10～20秒程度停止する。そのため、DPD監視/セッション監視エラーとなることがある。